

# 新規就農者による取組事例 〔奈良県御所市〕

## 1. 地域農業の状況

○ 御所市は、奈良盆地西南部に位置し、東北は大和高田市・橿原市、東は曾我川流域の高市郡・吉野郡、南は五條市、西は大阪府、北は北葛城郡に接した地域である。



○ 主要作物としては、米のほか、大和イモ、里芋等の野菜、柿等の果樹、また乳牛の飼育もなされている。

○ 御所市は、棚田での水稻を中心とした営農がなされてきた地域であるが、担い手の高齢化に伴い、傾斜地の不整形な水田を耕作することが困難となってきたこと、また後継者不足により荒廃農地が増加している。

|        |       |         |
|--------|-------|---------|
| 耕地面積   | 2014年 | 1,130ha |
| 田耕地面積  | 2014年 | 1,020ha |
| 畑耕地面積  | 2014年 | 111ha   |
| 総農家数   | 2010年 | 1,552戸  |
| 自給的農家数 | 2010年 | 680戸    |
| 販売農家数  | 2010年 | 872戸    |

資料：耕地面積統計、農林業センサス（農林水産省）

## 2. 耕作放棄地再生利用の取組

取組主体 新規就農者

再生面積 0.13ha

作付作物 （予定）いちじく

地区名 朝妻（あさづま）地区

取組年次 平成26年3月～

販路 -

### （1）荒廃農地解消に向けた取組内容

○ 本地域では若い担い手が不足しており、荒廃農地の解消が難しい状況にあった。

そこで県と市がマッチングを行い新規就農者を呼び込むとともに、耕作放棄地再生利用緊急対策交付金を活用して荒廃農地の再生作業が行われた。

今後は、良質な水が豊富に得られる地形を活かした高品質なイチジクの生産に取り組むとともに、継続的な営農が期待出来る青年等新規就農者を呼び込み、更なる地域農業の発展を目指している。



事業実施前



事業実施後

### 活用した支援策

H26～ 耕作放棄地再生利用緊急対策交付金（国）（重機による再生作業）